

- 【更Q-1】市場売電が数か月に1度しかない事業者の場合、約定見込みがない該当週においては「取引先コード：GSSS●」に「0」で提出してもよいでしょうか。
- 【A-1】0の記載で問題ありません。

- 【更Q-2】週間計画は最大需要時、最小予備率時の2コマの記載です。該当コマの約定を想定すると1コマ毎に運転停止できる発電所では約定が0か全量の2択になります。想定が外れると大きく乖離が発生しますが問題ありますでしょうか。
- 【A-2】問題ありません。週間断面で想定した量を記載ください。

- 【更Q-3】対象となる電源がない場合は「前日スポット約定想定」列自体を設けなくて問題ありませんでしょうか。
- 【A-3】「GSSS●」に数値が入る見込みがない場合、「前日スポット約定想定」を新たに設ける必要はありません。

- 【更Q-4】週間需要調達計画でのスポット売電が見込まれるケースはなぜ今回の対応は不要なのでしょうか。
- 【A-4】週間発電販売にてスポット売電分も考慮した出力としてすでに記載されているためです。

- 【更Q-5】市場取引を需要BG側で実施している（発電販売計画において他社への販売分を除く全量を自社需要BGに販売する計画としている）場合には、本件対応不要との認識でよろしいでしょうか。
- 【A-5】不要です。需要調達計画で市場取引分を記載している場合は、発電販売計画に売電分を計上して記載している認識です。

- 【更Q-6】需要BGのみに販売している非調整電源について、発電増減分も含めてすべて需要BGで消費する予定の場合には対象外でしょうか。
また、需要調達計画側でスポット売電予定がある場合はどのように週間需要調達計画に記載したらよろしいでしょうか。
- 【A-6】対象外です。
需要調達側では受電した電気の一部をスポットで転売するような計画の場合、需要調達計画の販売計画に記載せず供給力が余剰状態のまま計画内不一致の状態でご提出ください。
- 【更Q-7】発電販売計画から余剰分の全てを需要調達計画に送り、スポット売却をしている場合は対象外でしょうか。
- 【A-7】対象外です。
今回の目的は、一般送配電事業者が把握する非調整電源の出力について適正な値とするように変更を求めるものです。その趣旨から、余剰分を需要調達側で売却する場合、その売却見込みを含んだ発電機出力で発電計画を提出を頂く必要があります。
同様に、需要調達側でのスポット売買の結果、発電機出力が減少するといった場合が週間時点で予想されるものについては、スポット後に抑制される想定で、値の記載が必要です。
- 【更Q-8】スポット約定結果により発電機出力を変化させない電源は対象外でしょうか。
週間計画上は余剰となっていますが、発電所の制御には影響が出ない電源となります。
- 【A-8】発電側でスポット売電せず、受電する需要BG側でもスポットの結果に関わらず発電機出力が変動しない場合は、対象外となります。

- 【更Q-9】発電機が2つ以上ある場合、週間発電販売計画に発電機毎に織り込み予定値を分けて提出することは可能でしょうか。
- 【A-9】複数の同じコードを記載していただいても問題はございません。
なお、同一コードを使用した場合は、変更計画提出時にご注意いただくこととして、計画数・計画記載順番を維持したままの計画提出をお勧めしています。
(変更計画だけを提出された場合、登録結果が想定したものと異なってしまう場合があります。)
- 【更Q-10】水力発電やバイオマス発電、太陽光発電は対象になりますか。
また、出力の想定量の予測が困難な太陽光については何か計画に織り込む際の注意点等ありますでしょうか。
- 【A-10】スポット売電がないのであれば、対象外です。また、注意点は特にございません。
予測時点での想定を織込んで頂ければ問題ありません。(FIT電源は対象外です)
- 【更Q-11】需要調達計画でスポット取引を行っている且つ、発電販売計画にスポット売電量を織り込んでいないケースはどのように対応すればよいでしょうか。
- 【A-11】発電販売計画から余剰分の全てを需要調達計画に送り、スポット売却をしている場合という意図として捉えます。
目的は予想される当日発電される非調整電源の出力で週間計画を提出頂くことです。市況価格により需要調達側で受電量が変更になると見込まれる場合は、その内容を発電販売計画側に織り込んで提出頂く必要があります。

- 【更Q-12】今後、自然変動電源の出力抑制を考慮して週間計画に反映することは必要になってくるでしょうか。
- 【A-12】現状、週間段階での自然変動電源の抑制はないものと想定しております。
仮に週間段階での再エネ抑制指令が発生した場合は、その内容を反映した計画提出を頂くことになります。

- 【更Q-13】昨年試験を行った週間計画の最大・最小時刻の仕様変更の代替でしょうか。
- 【A-13】指定時刻への変更とは関係ありません。スポット約定見込みを発電計画に織り込むという新たな取り組みです。

- 【更Q-14】エリアを跨いだ自己託送も対象になりますでしょうか。
- 【A-14】今回の対象とはなりません。エリアを跨ぐ自己託送の場合、予め販売先が決まっており計画上也適正な値（週間段階で想定した実際に当日発電すると見込まれる数値）で織込まれているためです。

- 【更Q-15】調整電源の余力で市場拋出しているケースも考えられますが、今回の対象外でよろしいでしょうか。
- 【A-15】対象外です。調整電源は一般送配電事業者側で把握しております。

- 【更Q-16】非調整電源を原資とした買い入札を予定し、約定すると想定される場合の計画の提出の方法は、JEPXからの調達計画は計上せず、未約定と想定される分だけ抑制した発電計画を提出するのみでよいのか。
- 【A-16】相手先を特定したものに当たるものは今回の対象外となるため、受電する需要BGで当日受電（エリアを跨ぐ場合は間接オークション制度に従い入札するもの）すると見込まれる数値での提出をお願いします。
週間計画上は、発電BG－需要BG間の受け渡しでの記載となります。

- お問合せ先：週間計画変更 問合わせ窓口
- 電子メールアドレス：implicit_setsumeikai@occto.or.jp